



# 会報

THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA  
鶴岡ロータリークラブ

第738回例会 1974.1. 29(火)雪 No.29

例会日 火曜日 12時30分  
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所  
会長 安藤定助 幹事 小松広穂

**a Time for Action**  
「今こそ行動のとき」



重要文化財  
旧西田川郡役所

会報はご家族みんなで読みましょう

## ○ 出席報告

本日の出席

会 員 数	66名
出 席 数	54名
出 席 率	81.82%

前回の出席

前 回 出 席 率	72.73%
修 正 出 席 数	61名
確 定 出 席 率	92.42%

欠 席 者

阿宗君、阿部(公)君、阿部(襄)君、板垣君、吉野君、嶺岸君、三浦君、三井(賢)君、小野寺君、菅君、斎藤(信)君、津田君

メークアップ

藪田君—仙台RC  
佐藤(忠)君—酒田RC  
森田君、海東君、佐藤(衛)、嶺岸君、三井(健)君、小野寺君、佐藤(昇)君、鈴木(善)君、高橋(正)君、手塚君、富樫君—鶴岡西RC

## ○ ビジター

太田毅一君—鶴岡西RC  
田宮長二君—温海RC

○ 点 鐘 安藤会長

○ ロータリーソング「手に手つないで」

○ 会長報告 安藤会長

1. 新年家族会に多数参加下さいまして有難うございました。

去る22日開催の新年家族会にはご家族共々86名の多数の参加をいただき、盛沢山の素晴らしく美味しいご馳走をつつき合い乍ら大変和やかに楽しい一夜を過ごすことが出来ました。

特に設営に当って親睦活動委員長中江君を陣頭に前夜夜行軍で秋田から新鮮な魚を運び刺身を供せられたり、又大膳部を動員して採算抜きのご馳走たっぶりの折箱を調製される等、又笹原君は現物もお値段も蔵から直送の破格のサービスを供せられる等、本当に好意の数々を寄せられ、加えてNHK局長佐々木君を司会団長に代わる代わるの司会で真に楽しい

プログラムとなり、本当に楽しい心のもった一夜を過ごすことが出来ました。夫々ご努力下さった方々、並びに参加下さった会員、ご家族皆様に深く感謝申し上げます。

## 2. 理事会決議事項について

### イ、クラブアッセンブリーの件。

1月開催予定のクラブアッセンブリーを来る2月5日(火)例会終了後引き続きこの会場で開催します。

各委員長は必ず、又その他の会員も出来るだけご出席下さい。協議事項は各委員会活動の前半期の反省と後半期活動についてですので予めご検討置き下さい。

### ロ、インター・シティ・ゼネラル・フォーラムの件。

地区のインター・シティ・ゼネラル・フォーラムが来る2月24日(日)9.00～15.00 遊佐RC、ホストクラブで遊佐中央公民館で開催されます。地区よりも出席要請がありますので、夫々のテーマを担当される別にお願ひする義務出席の方の外比較的近年入会の方々のご出席をお願いいたします。

## ○幹事報告

小松幹事

### 1. 認証状伝達式

#### イ、岡山県児島東RC

とき 4月21日(日)

ところ 倉敷市児島文化センター

登録料 8,000円 家族 5,000円

#### ロ、東京港南RC

とき 5月12日(日)

ところ ホテルパンフィック(品川駅前)

登録料 8,000円

### 2. ガバナーノミニー事務所開設案内

イ、所在地 福島市大町6-11

ロ、事務所 財団法人大原綜合病院内

ハ、TEL 0245(福島) -21-2850

## ○会員スピーチ

山本正君

### 米国雑感

先頃私はアメリカのグリーンビルという所で開かれましたATMEといわれております国際繊維機械展示会を見学するために渡米致しましたので、その時感じたいわば米国雑感というようなことを少しお話し申し上げたいと思います。

日本を出発しましたのは10月21日で途中サンフランシスコ、ニューヨーク、ワシントンへ立寄り現地時間で24日の夕方米国南部のジョージア州のアトランタという所に着きました。アトランタは南部の工業の中心地で米国屈指の大都会です。小説『風と共に去りぬ』の舞台になった所だそうでございます。ここからチャーターしたバスで3時間程走り、サウスカロライナ州のアンダーソンという田舎町に着きました。このホリディインというモーターに1週間余り滞在致しました。

申しおくれましたが私は伊藤忠繊維機械部が編成しました見学団の一員として行きましたので福井、石川の機屋さん14～15人とその他の地区の機屋さん14～15人のA、B2班から成る約30人余りのグループでございました。余談ですがホリディインはCIが提携して日本でも京都などにホテルを持っております。

ここから毎朝貸切バスで30分～1時間かかって会場でありますグリーンビルのテキスタイルホールへ通ったわけでございます。30分～1時間といえますのは、たまたまその土地にクワイ運転手が来ますと30分で行けますが不案内の運転手が来ますと大廻りをしたりなどして1時間かかってしまいます。ハイウエーからクリーンビルへの入口が沢山あるものですから市街へ入って

から先に時間がかかってしまいます。

さてこのATMEといいますのは4年毎にここグリーンビルで開かれております。ヨーロッパにもITMAというのがございまして、これも4年毎に各国持ち廻りで開かれています。前回は昭和46年パリで行なわれております。ITMAが経営者向けのデモンストレーション的な要素が多いのに較べてATMEは工場長向けに実用的なものが多いといわれております。

我々としても今後の合理化の方向を見さだめるとか、業界自体の方向例えば織物よりニットが増えそうだとか、そういうものを勉強するには大へん役に立つものでございますし、又ここ10数年来布を作る技術というものが合織の出現と共に世界的に飛躍的に進歩しておりますが、この種のフェヤが大きく寄与していることは疑う余地がありません。毎回日本からは数千人の人々が見学に訪れます。今回なども着いた日の夜のテレビを見ておりますと大勢の日本人のためにグリーンビルの空港では、タクシーは奪い合いであり周辺のホテルは満員であると伝えておりました。

グリーンビルには公営の飛行場と民間の小型機用の飛行場と2つあります。私達がアトランタからバスを使ったのは乗換え時間等を考慮して、その方が早いと判断したからです。

日本人に対する警戒心はかなり強く、周辺の各工場は、この期間に渡米した日本人に工場見学をさせないと連盟で決めたとかで私達も当初予定していた見学先もいつしか断られました。

アメリカ東部の大都会は治安が悪く、特にニューヨークでは気をつける様に出発前から沢山の人から注意を受けました。夜は絶対に一人で歩かない様にとか強盗に会った時の用意にポケットに少々のお金を入

れておいてやられたらそのお金を渡して素早く逃げるのがよいとか大分色々かされました。たまたま手違いで当初予定していたホテルに泊れなくて、そこで世話をしてもらったホテルがいわゆるウエストサイドでしたが商社の駐在員の人から、あそこは昼でも一人で歩いてはいけませんよといわれました。

ニューヨークは南北にアベニューといわれる通りが、又東西にストリートといわれる通りが盤盤の目の様になっており、その中を東北から南西へたすき掛けにブロードウェイが通って大へん分り易い街です。私の様な言葉に不自由な者が、バスやタクシーを使うより、各メーカーか商社の出張所を訪問するには歩いた方がずっと楽です。10年前に訪米した時はよく歩き廻りましたが今度はとてもそれどころではありませんでした。ある商社では事務員のアメリカ人のおじいさんが出勤途中、地下鉄の駅で両側から黒人にはさまれて財布を強奪されたと言っておりました。又途中工場見学の時ついて来てくれた女性の通訳の人は最近ニューヨークの在留邦人の奥さんで3人も強盗にあったという様な話をしていました。隣りで何か起ろうと、かかわり合いになりたくないのでは知らぬ振りをする人ばかりだといっておりました。黒人を大都会へ集め選挙を有利に進めるのが黒人の指導者の戦術だといっている人もおりました。そういうことでニューヨークでもワシントンでも黒人が増えておりますし、ロスアンゼルスなど黒人の市長になったところもいくつかあるそうです。

大都会の治安の悪さに比べアンダーソンの様な田舎は大へん落ちついた町です。アンダーソンはサウスカロライナ州の小さな町で高層建築物もなく原野の中に所々に集落のある静かな町です。私達の泊ったモー

テルは主要地方道が2〜3本行き交っている所に出来た集落にありました。近くにガソリンスタンドや食堂やマーケット、映画館などありますがお酒を飲ます所は殆んどありません。私達の泊ったホリデイインはアルコール類を出してくれますがビールかせいぜいワインしかありません。夜になると毎晩いろいろのパーティがこの食堂で行なわれており、楽団やパニーガールが来る目もあります。パーティによりましては我々が行っても入れてくれるものもあります。ここがこの辺の唯一の社交場という感じでした。

行って間もなくの夕方、食後散歩に出ましたら、後から出て来た外人の夫婦が駐車場の自分の車の所迄行って、丁度我々がそこを通りかかりましたら「お早よう、と声をかけて来ました。「お早よう、でなしに「今晚わ、と云うのだと教えてやりましたら、あとで車で追いついて来て、ウインドウを下げて「トーネヨウから来たのか、と尋ねますので「大阪からだ」と答えました所、自分は板付に行ったことがある。そこにビッグボーイというのがあるから来ないか、お金はいらないと言いまして小さな招待券のようなものを出して我々の人数を書入れサインをして渡してくれました。彼の指さした方向をよく見ると大きなネオンでビッグボーイというのが見えたのでためしに皆で行って見ました。行きましたらスナック食堂の様なもの、彼は大変喜んで酒はないが何か食べるかと言いました。もう満腹なのでミルクを欲しいと言いましたらジャンボサイズのコップに一杯のミルクを持って来ました。これを飲まなければいけないのかと思うとうんざりしました。本人はうれしそうに我々に話しかけたり、従業員に説明したりしていました。朝鮮戦争で大きゅうに居たそうで今は自分はここ

の「班長、だといっていました。後で方々行って見て分りましたがビッグボーイという店は方々にあり彼はこの店の責任者のようでした。自分の店が食堂であるにもかかわらず夕食にお酒を飲むために奥さんとホテルに行ったのではないかと思います。

夜は退屈なものですから何か飯物か食べ物でもと思ってマーケットへ買物に行きました。マーケットもビールとワインしかありません。数人で店の中をうろろろしていましたが赤ん坊をつれた若い2人連れの女性から声をかけられました。フエヤを見に来たのかということまでは何とか分りましたが、更にくわしいことを聞かれている様ですが分かりません。南部の英語はなまりが強いのだそうですが、それでなくても分らないのですからなまりのある英語など分る筈がありません。残念ですがよく話せないと言いましたら、にこにこしただけで行ってしまいました。買物を済ませて外へ出たら向うの方で先程の2人が車のトランクを開けて買って来た物をつめ込んでいました。我々の顔を見て手を上げて合図をして別れて行きました。こんなことから田舎来ると皆親しみを感じるのだなあと思いました。

ここには広い道路をはさんで大きなマーケット群が2つありました。一方は生協や主婦の店の様な感じの一般向けといひましようか、これは夜は早く閉ってしまひましようか夜も8.00〜9.00頃迄開いています。映画館もあるものですから若い人達も大勢ショッピングをしています。アイスクリームなど買ってなめながら買物をしている娘さんもあり、私も仲間が買ってくれと言ひますので売子に言ひましたら、どれが欲しいのかと言ひます。気がついて見るとショーウインドの中にいろいろの色のアイスクリ

ームが並んでいます。適当に「これ」と言いましたら、オーバナナ、これは大変おいしい、お世辞を言っていました。

マーケットの前は数千坪位の駐車場になっています。10月30日の夜はお祭りの様なものがこの広場であって夜おそく迄ダンスに興していたそうです。私は生憎当日単独で工場見学の為バージニア州え出かけておりまして見ることが出来ませんでした。が、仲間の人たちの中では一緒にダンスをした人もあった様です。誰かがアメリカでは田舎を知らなければ本当のアメリカ人は分らないと言っていました、この様な一面にその意味があるのかと思います。

アメリカで意外に思ったのは物価が思いの外安いということです。1ドルは約300円ですが大体100円位の感じで買物が出来ます。食事は特に安いという感じで、お昼に3ドルの食事をしますと私の様な小食の者では半分も食べられません。日本の駅弁の300円とは量において比較になりません。給料は繊維産業の従業員は安い方ですが、時給3ドル位、1日8時間で3交替、土曜日は割増賃金を貰いますが、週48時間働いています。退職金や寮の設備などありませんから、実際に出来るくる繊維製品は日本のものより安いと思います。その道の専門家にも当然言われましたが、我々実感として輸出はこれからは大変だなあと感じました。

土地でも非常に安く、バージニアで工場用地が1エーカー1,000ドル~5,000ドル坪にして200円~1,000円位、グリーンビルの辺りでは50円だそうで、少し(10エーカー程)買いませんかと冗談を言われました。ガソリンもガソリンスタンドに出ている値段が1ガロンハイオクタンで40セント内外、1ℓ20~25円位です。暮し易い国だという感

じがしました。

物が沢山あるから無駄に使うかというところでもない様です。私1人で1晩ワシントンから一寸離れた工場を見に行きまして夜遅く飛行機でグリーンビル迄帰って来ました。グリーンビルからアンダーソン迄はタクシーで大体1時間30分位かかりますがタクシーで帰るべく車をさがしてありましたら「どこへ行くのか」と聞かれましたので「アンダーソン迄」と言いましたら一寸待ってくれと言われ暫く待っておりますと「この車に乗れ」と教えて呉れました。車に乗りましたら先客が2人乗っております。私の他にもう1人乗ったら(助手席に1人、後席に3人)やっと動き出しまして行く先客をお客を降し、私は一番遠いものから一番最後にアンダーソンに帰って来ました。日本でなら何処へ行くにも又一人でも動かして呉れますけれども向うでは同一方向に行くお客さんは全部乗せて一回で運ぶという様に合理的な節約をしているという風な感じがしました。

時間もありませんので又何れ時間がありましたらお話を続けたいと思いますけれども、帰りはボストン、ナイヤガラの方を廻ってロスアンゼルス、ハワイに立寄り帰って来ました。まあ一番感じた事はアメリカという国は思ったより物が安い国だなあと感じ私達がこれから競争して行く為には随分大変だなあと感じました。大変簡単ですけれどもこれで終わります。ご静聴有難うございました。

○次に会員スピーチとして齋藤得四郎君が登壇され私共中年からの健康管理について其の必要性を述べられ、現在本町2丁目に開設しております「トレーニング、ルーム熊久」については運動不足解消、美客と健

康、体力診断等々に関連して自分の体験を通し種々有益なお話がありました。  
(入会御案内は別紙配布)

## 新年家族会のスナップ写真

中江親睦活動委員長の開会の挨拶



### ○ロータリー情報委員会示談板

大川 喜一 君  
張 紹淵 君  
山本 隆男 君

#### 1. 一般質問

42 国際ロータリーの財政はどう賄われていますか？

国際ロータリーの主な財源は加盟クラブの人頭分担金(各正会員、シニア、アクティブ及びバスト・サービス会員1名毎に半ヶ年4ドル納入)；新加盟クラブの加盟金；ロータリアン誌及びレピスタロータリアンの購読料と広告料、及び投資に対する利子であります。

#### 2. 一般質問

43 国際ロータリーの立法機関は何ですか？

国際ロータリー細則第9条に規定されているように、全世界のロータリークラブの代議員から成る規定審議会です。

#### 3. 一般質問

問44 国際大会開催都市所在地について一定の原則がありますか？

あります。

1964年(トロント)大会で採択された決議により、1970年の年次大会からは連続3年以上同一国で開催してはならないことになりました。

挨拶にききいる開宴直前のひととき



アルコールも大分はいりサァー  
「手に手つないで」

